看護英語	1年・後期	1単位	准教授 三沢 幸子
科目カテゴリー	人としての教養	科目ナンバリング	31310231

1. 授業のねらい・概要

近年のグローバル化とともに英語でコミュニケーションをとる必要性がますます高まってきている。医療現場においても、世界共通語である英語で訪日・在留外国人に対応できることが求められている。また英語学習を通じた異文化に対する理解も欠かすことはできない。総合的に『看護の現場で役立つ英語』を使えるようになることを目指す。

2. 到達目標

1. 英語を理解でき、話せる楽しさを知る。
2. 看護現場で遭遇する専門用語や会話を学び、実践で使えることを目指す。
3. 英語を通し異文化からの視点を理解し、グローバルな状況に対応できる感性を養う。

3. 授業の進め方

テキストを活用して医療専門用語と看護現場で遭遇する日常会話を学び、積極的に話す力を養う。状況を設定した患者との会話のリスニングを行い、ヒアリング能力を高める。さらに、英文で書かれた「医療現場でのエピソード」や「海外で活躍する看護師の体験」などを読むことにも挑戦する。また看護の場面で遭遇する状況について理解を深める。

4. 授業計画

1. はじめに 医療で用いる英語とは	9. 症状の持続時間を尋ねる
2. 励ましの声をかける	10. 検査の手順の説明
3. 病状を尋ねる	11. 入院患者との会話
4. 体調を尋ねる	12. 手術前後の説明を行う
5. 問診票の記入・病名1	13. 薬の説明をする
6. 病院内の案内・病名2	14. 文化の違いに関する心配事を聞く
7. 症状を尋ねる	15. 退院後の説明をする
8. 痛みの場所について尋ねる	

5. 成績評価の方法・基準

授業参加度 20%, 課題 20%, 期末試験 60%

6. テキスト・参考文献

テキスト: 井上真紀・佐藤利哉 “Lifesaver 改訂版 Basic English in Medical Situations”

ナショナルジオグラフィック ラーニング

参考文献: 米国の医学雑誌に掲載されたエッセイ。

7. 準備学習に必要な時間そして具体的な学習内容

今回の講義で学習する箇所を、最低でも30分かけて準備する。

意味や発音のわからない単語を、きちんと調べておくこと。意味の不確かな表現を講義で確認できるように、英文をしっかり読んでおくこと。

8. 受講上の留意事項

積極的にペアワークを行い、活発に発言し、英語を話すことに挑戦すること。

英和・和英辞書(電子辞書など)は必ず準備し、講義には携帯する。スマホの使用は認めない。

9. 課題に対するフィードバックの方法

採点し、返却する。返却時に正答を伝え、講評を述べる。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。